



第6回 論語指導士 定方美香（第百十七号）千葉県

我が家の論語教室のご報告です。

千葉県も3月末より、幼稚園も小学校も休校となり、論語教室も足並みを揃えてお休みしていました。しかし、じっとしてられない性分です。アナログ人間の私も時代の流れにがんばって乗っかって、4月中旬より zoom で論語教室をスタートしました。1クラス7.8名。学年ごとに分けて、30分～40分程で行っています。幼稚園クラスは、手遊びや、絵本、カードを使ったゲームのあとに、論語の素読。小学生クラスは、ことわざや、都道府県のカードに加えて、「ダジャレ大会」や、「国旗あてゲーム」など、ダジャレやクイズを考えてきてもらって発表する、というような双方向のやりとりを入れながら行っています。小学生にもなると、一方向だけでは、物足りないようです。成長を感じます！

幼稚園クラスも、小学生クラスも、もちろん最後は論語で締めくくりです。5月の論語は、「子曰く、徳は孤ならず、必ず隣有り。」「子曰く、難きを先にして獲ることを後にす。仁というべし。」でした。

世界中で、新型コロナが猛威をふるい、みんながそれぞれに大変な思いをしています。4月には、日本においてはちょうど昭和の日がありました。私たちのご先祖さまは、どんな困難があつて、それをどうやって乗り越えてきたのかを考えてみました。そして今、世の中の人、どうやってこの困難を乗り越えようとしているのか。よく見てみると、みんなが少しでも楽しく、安心してすごせるか、いろんな場所でいろんな工夫をしてくれている人が見えてきます。どんなことに気がつくかな。

「仁」は、色んな形になって表れています。さあ、みんなの「仁」はどんな形で表れるかな？みんなができることってなんだろう。マスクをすること、けんかしたら「ごめんね」って謝ること、自分のできることは自分でやる、小さなことでもそれは大事な「仁」の形。小学生になれば、もっと面白い形にできるかも！だれかを喜ばせるために何してみる？？なんて、会話をしながら、いつもと違う形の zoom 論語教室を楽しんでいます。一番楽しんでいるのは、きっと私です。どんな形であれ、論語を通して学びあえる時間と仲間は、私にとってとても大切なものだと思改めて感じているところです。



来週は、5月のまとめとして、「仁の形発見ビンゴ！」なるものをやってみようかなと企画中です。暗いニュースも多いですが、もしかしたら世界中にはそれに負けないくらいの「仁」が溢れているかもしれません。今自分に何ができるかと、小さな子どもから、大人まで、小さなことから、大きな仕事まで、色んな形で「仁」が輝いているような気がします。

長くなりました。皆さまの健康と、コロナの終息を心より祈っています。

「加地伸行からの百字答礼」

定方美香様へ。

論語教室再開、いいですね。論語の勉強が終わった直後、子たちが隣室へ走りこみ、机の上に山盛りのお菓子を争って食べる姿、今思い出しても大笑い。教室拝見に行きました日のこと、思い出します。頑張ってください。